

東京五輪を、

しんけん応援する

おいさん達!

—吉田寛の新春小噺—



おいいたのおいさん達が居酒屋で飲む時の話題は、スポーツが多い。政治や経済などの難しい話は、よだきいからである。さてスポーツもいろいろあるが、今年のラグビーワールドカップも大分開催の試合もあって、大いに盛り上がるだろうが、来年の東京五輪もある。スポーツ好きのおいさん達にはたまらない日々が続くわけだ。

おいさん達は当然、昭和の生れであり、少年時代に東京五輪を白黒テレビで観たしも多いので、当時の思い出から話が始め

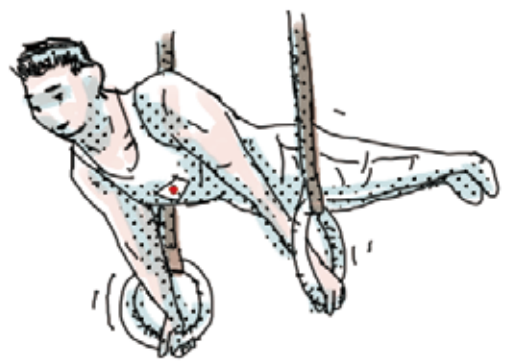


るのである。「五輪の花ち言うたら、やっぱ、**マラソン**やなあ。**裸足の哲人**アベベやなあ。おれも運動会ん徒競争は裸足じ走りよった。速かったんど」

「そうそう、馬ん糞、踏んだ踏んだ。そやけどいつこん速うならんかった。そしたら友達から、靴じ踏んでんつまらん、裸足じ踏めとか言われたけど、さすがに踏みきらんかった」
「アフリカ勢は走るの速えけど、最近日本選手も男女とも速うなったのう。メダルが楽しみやわい。」



そらそうと、お前、なんか他んスポーツはしたことあんのか?」「中学ん時、**水泳部**やった」「へー、そげえ肥えちよっち、泳ぎきったんか?」「中学生ん時は瘦せちよった。南大分んトビウオち呼ばれちよったんど」



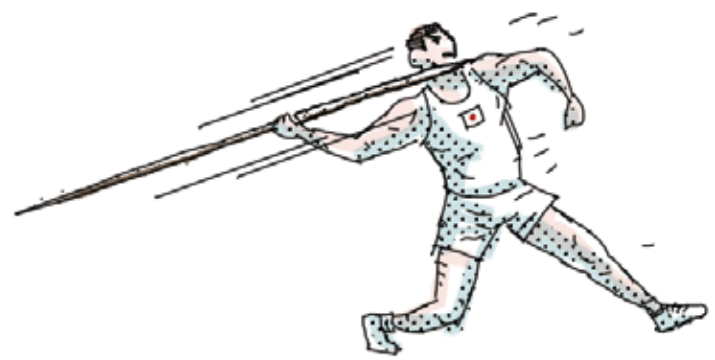
「お前がシンクロしよる姿想像したら、気色悪いわい」「そう言うお前は、何しよったんか?」「おれは、こっ見えてん高校ん時、**体操部**やったんど」「へー、種目は?」

「床運動に、あん馬、つり輪、跳馬、平行棒、鉄棒と、ひと通りやった」「へー、今じゃ見る影もねえのう」「そらお互い様じゃ。そやけど、体操ニッポンは未だに健在じゃ。金メダルいっぱい獲るじゃろうのう」

「金メダルちゆうたら、**レスリング**とか**柔道**の格闘技も期待でくるのう」



「おれは、運動足袋じ走りよったけど、あんまし速うなかつた」
「馬ん糞を踏んだら走りが速うなるとか言いよらんかったか?」
「そうそう、馬ん糞、踏んだ踏んだ。そやけどいつこん速うならんかった。そしたら友達から、靴じ踏んでんつまらん、裸足じ踏めとか言われたけど、さすがに踏みきらんかった」
「アフリカ勢は走るの速えけど、最近日本選手も男女とも速うなったのう。メダルが楽しみやわい。」



「なげやりじゃ」「そら、**やり投げ**じやろうが」
この夫婦漫才のネタは何回聞いても笑わかされるのである。なしか!

コピーライター 吉田寛
文化放送ラジオCM大賞グランプリ、全国FM放送CM大賞グランプリ受賞歴を持ち、平成11年国民文化祭大分大会の民話劇「吉四六・雨乞い」脚本・演出や、NHK福岡放送局「南こうせつ」の金印テレビ、OBSラジオ「夕方なしか」等の構成・出演もこなすマルチクリエイター。大分弁と焼酎をこよなく愛す。